

2009 ナガサキピースツアー

8月8日・9日

長崎に原爆が落とされた8月9日に、毎年被爆地を訪れるピースツアー。今年は、子ども5人を含む11人が参加し、現地でなければ体験できない、ナガサキの平和への想いに触れました。



参加者の感想

小学3年生の娘と参加しました。娘がどう感じるかなあと思いいながら…。原爆資料館は怖かったようです。人の写真や絵は本当に怖い。「怖かった」というのも、大切な感情だと思います。戦争は怖い、原爆は怖い、ここからスタートです。将来、自分の頭で、平和・戦争・核の問題を考えてくれることを願って…。

平川みゆきさん



原爆によって一度は枯れかけたが、復活した山王神社の「被爆クス」。樹齢500年以上といわれています



被爆のつめあとめぐりではクリスチャンの墓地へも。没年が按下された日になっているものが多かった。

「被爆者への想いを寄せる『長崎の再発見』」をテーマに開催された「ナガサキ虹のひろば」（日本生協連主催）では、被爆者の手記などを元に朗読会が行われ、被爆といたすさまじい体験がリアルに伝えられました。長崎県の高校生がとりくんでいる「高校生一万人署名活動」の紹介もあり、核兵器廃絶を自分たちなりに訴えて活動が続ける子どもたちの姿に、参加者は元気をもらいました。

親子産直産地ツアー



愛情込めて育てられた牛さん

岡山県 イサミ・おからく 7月26日・27日

普段はめったに見ることのない牛たちを前に恐る恐るの子もたちも、牛乳や「牛肉」が食卓に届くまでには生産者のたいへんな苦労があり、多くの人が関わっているということを知り、食べ物の大切さを感じた旅になりました。

普段の私たちの食生活に欠かすことのできない「牛乳」と「牛肉」の産地、イサミ・吉備高原牧場（以下イサミ）、おからく（以下イサミ）に9家族24人が訪問しました。今年3月より「おからく」で生まれたオスの仔牛を同じ岡山県内の「イサミ」で肉牛として肥育する「酪畜循環産直」がスタートしています。



生まれたばかりの酪畜循環くん

イサミさんのお肉や、おからくさんの生協牛乳は毎回購入していましたが、これからはそこに、あの方々が愛情込めて育てられた牛さんという安心が加わりました。

上田 薫子さん

えさを工夫しておいしい肉や牛乳を作っていること、牛の病気やけが、いじめられていることを気づいてあげることなど苦労していること、子牛は生まれてすぐ親離れさせられること、エサがほしいときなども「モ～」と言うことなどいろいろなことも教えてくださいました。教えてくださったことをこれから頭に入れて肉を食べたり、牛乳を飲んだりしていきたいと思えます。

濱田 沙希ちゃん

親子産直産地ツアー



かわいそうだけど命を大切にいたごう

鹿児島県 マルイ農協 8月10日・11日

正直なところ10歳の子もたちが、解体されていく鶏を見ながらどう感じるか不安でしたが、かわいそうだけど命を大切にいたごうという思いが芽生えた様子で、残さず食べるようになり、今まで食べることもなかったたまごかけご飯を好んで食べるようになりました。衛生管理・製品管理・社員教育に、ただただ驚き、安心して食べられるんだということを子どもも肌で感じたようです。

田邊 克子さん

70年前に8人の生産者で発足して卵から、パックつめ、鶏肉解体と加工、鶏のエサ作り、販売、輸送を全てグループで行っている「マルイ農協」に大人6人子ども5人で訪問しました。今回の訪問では大人の見学コースとは別に、子どもたち用の見学コースを作っていた。説明を受けました。工場に入る前に、子どもたちにもわかりやすいように、一羽の鶏を各部位ごとに切り分けながらの説明を受け、その後は白衣を着て工場見学をしました。ちよっぴりかわいそうという加工工場での感想もありましたが、「残さず食べるようになった」と子どもたちの成長につながる旅になりました。



「髪の毛1本も出てないかな?」と見学前にチェックしてもらおう子どもたち



OK!

産後のしんどいときに とても安心できました

あへの支部活動報告

2人目の赤ちゃんが産まれて、たすけあいの会を利用しました。上の子のお迎えと家事をしていただいて、大変助かりました。産褥期なので横になっていると、料理を作ったさる包丁のトントントンという音が聞こえてきます。とても安心できる音で、「台所とは家族の工場だなあ、早くよくなって、料理をつくらう」と、前向きにパワーができました。育児の先輩としても、参考になることが多かったです。私も余裕ができれば、人助けをしたいと思うようになりました。周りに頼れる人がいない方に、とてもおすすめです。

利用会員さんより



住み慣れた地域で、心豊かにくらしたいと願い、「ちよっと困った時におたがいさまの気持ちを大切に」と始まった、たすけあいの会。

問い合わせ先

福祉事業部
くらしのたすけあいの会
☎0120-294-044
FAX 06-6925-2590
(月~金曜 9:00~17:00)

会員を募集しています

くらしのたすけあいの会